

その他意見(模擬実験などに対する意見)一覧

第3回審議会 資料2

1 検討シート記載意見

No.	意見	委員
1	子育て支援の充実したまちづくりは少子化対策にもつながっていくものと思います。	山田委員
2	各委員の評価の点数の差が大きかった	山田委員
3	第2回審議会において各委員が評価について、議事録等で確認できる範囲で評価ポイントに差異があれば、その内容について早い段階で審議しておきたいと思います。	中村委員
4	外部評価模擬実験において、率直な感想。評価内容に対する個人的な関心度が、評価点を大きく左右すると思いました。つまり、人間のニーズに対する温度差とも言えるのでしょうか。我が家では、すでに子育ては終わっており、関心度は低い内容なので、評価点の甘い点をつけさせて頂きました。おそらく、関心度が高ければ、辛い点をつけたらと思うのですが。	関口委員
5	第二回審議会の際、行政事務局からの「外部評価に関わる、行政の経常経費」の回答を頂いたことには感謝しております。私の本意は、本審議会にかかる経費の計上額にこだわっているのではなく、会議を開催することによって、限りある財政を圧迫する。コスト感覚を再認識したかったからです。「市民参加を基本としたPDCAサイクル」の確立をするためには、確かに事務事業レベルまでの評価が必要です。その場合、会議数も多くなり、経費も増えます。収支のウェルバランスも考慮しなくてはなりません。難しい問題だと思えます。	関口委員

2 第2回会議発言意見(要旨)

No.	意見	委員
1	試行用のシートの方が、より高評価になると考えられる。	石川会長
2	市民による外部評価は、市民が評価した際の根拠・理由を述べるところが重要である。評価の根拠・理由をまとめられる形にする必要があるとともに、各委員の評価結果の乖離をうめるためには、委員同士で議論することが必要である。	石川会長 中村委員
3	各委員の評価結果の差が大きい。	石川会長 荒木委員

No.	意見	委員
4	一般的に外部評価は厳しくなる傾向にある。	荒木委員
5	和光市においても高齢化の時代になることを想定して、他の施設としても利用できるように保育園を整備することを望む。	荒木委員
6	施策への関心度が評価結果を左右する。	関口委員
7	和光市においては小さい子どもが増えているように感じるため、ある程度将来の見通しがよいと感じる。	加藤委員
8	ただ点数化の評価に留まるのではなく、ディスカッションが必要である。	森田副会長
9	点数評価は、点数をつける基準についてコンセンサスが必要である。	石川会長
10	極端な考え方がある委員が参加する場合に、外部評価を適切に行うための方法として、評価点数の最高点の人と最低点を除いて、残りの点数の平均をとるなどの方法がある。	中村委員
11	より良い指標が、あらかじめ定められた指標以外にある場合、それを補足指標として採用することも考えられる。	石川会長 中村委員 森田副会長
12	都市計画などの事業期間の長い施策については、評価時点で、一つのサイクルの中のどこの位置にいるのか、どこまで進んできているのかが分かる指標があれば、分かりやすくなる。	関口委員
13	分かりやすい評価表にするためには、外部評価されるということを内部で説明する必要がある。	荒木委員